

令和5年第1回 芽室町二十歳と祝う会



2017年度卒業の上美生中学校の皆さん6人のうち5人が集合!
（左から）折笠礼奈さん、藤田帆花さん、三輪昇輝さん、伊藤和馬さん、吉澤早絵さん。上の写真で目標を語ってくれた三輪さんは、当時、愛知県から山村留学をし、上美生で過ごしていたそう。この日も上美生のほしそらハウスに宿泊でした。

聞いてみました! はたちの夢や目標は?



今年二十歳を迎えた皆さんには、今までのような夢や目標を持っているのでしょうか。当日にインタビューし、スケッチブックに書いていただきました。

「うん」と考へ込んでしまうのかと思いつや、ご協力いただいたみなさんほとんどが、サラサラと書き上げてくれました。中には「書いてもいいですか?」と立候補してくれる方もも! とっても頼もしい二十歳のみなさんでした。

夢や希望に満ちた二十歳!



撮影時のみマスクを外していただきました。



▲町民憲章を宣誓する流田さん



▲はたちの誓いを宣言する寺町さん、藤田さん

撮影時のみマスクを外していただきました。

記念すべき第1回 1月8日(日)。澄み渡る青空のもと、令和5年第1回芽室町二十歳を祝いました。昨年同様、新型コロナ対策として、時間短縮や保護者の臨席なし等の制限を設けた開催とはなりましたが、中学生時代の恩師が見守るなかで旧友や先生との久々の再会を心から楽しんでいる様子が伺えました。

新しい時代を切り開く力強さが、大人としての大きな一步を踏み出しました。昨年18歳に引き下がられたことから、「成人式」ではなく、従来通り記念すべき第1回となりました。

新しい時代を切り開く力強さが、大人としての大きな一步を踏み出しました。昨年18歳に引き下がられたことから、「成人式」ではなく、従来通り記念すべき第1回となりました。

新しい時代を切り開く力強さが、大人としての大きな一步を踏み出しました。昨年18歳に引き下がられたことから、「成人式」ではなく、従来通り記念すべき第1回となりました。

あつまれ！18,005人！

まちのうごき

がつ にち
1月12日 ちょうちょうしつ
町長室
め むろちょう じ ち き ほんじょうれいてんけんけつ か ていげんしき
芽室町自治基本条例点検結果提言式



め むろちょう じ ち き ほんじょうれい けんぱう よ
芽室町自治基本条例は「まちの憲法」と呼ばれ、
まち全体のルールやまちの決まりごとが記載さ
れています。

ねん こ き かん じょうれい てんけん
4年を超えない期間ごとに、条例を点検しな
ければならないと定められており、役場の職員
めい てんけん い いんかい そ しき ほっかいどうだいがくこうきょううせいさく
14名で点検委員会を組織、北海道大学公共政策
だいがくいん む とうじゅんはんじゅじゅ まね
大学院武藤准教授をオブザーバーとしてお招きし、
がつ がつ じょうれい てんけん ぜん かいじ し
7月～10月まで条例の点検を全5回実施しました。
ていがんないよう ていがんしょ まち
提言内容は提言書として、町のホー
ムページに掲載していますので、ぜ
らん
ひご覗ください。



について」と題し、町内の幼稚施設職員を対象に、研修会を開催しました。

どの施設でも救命救急講習は受講しており、
エーティーの使い方や、蘇生方法は学んでいるもの
の、今回は、実際に事故が起きた際の職員の動
きについて学びました。

研修を通して、各施設で作成している緊急対
応のマニュアルが、より実態に即したものとな
るように、さらに必要な知識を得ることができます。

がつ にち にち
12月21日、27日

全国町村監査委員協議会長表彰と北海道社会貢献賞を受賞



め むろちょう ぎ かい ぎ いん め むろちょうかん さ い いん つと にし お かず
芽室町議会議員と芽室町監査委員を務める西尾一
のり
則さんか、23年 3か月にわたる町議会議員としての
こうせき ほっかいどうしゃかいこうけんしょう ながねん かんさ い いんかつ
功績により北海道社会貢献賞を、長年の監査委員活
どう こうせき ちようそんかん さ こうろうしゃ せんこくちょうそんかん
動の功績により、町村監査功労者として全国町村監
さ い いんこう ぎ かいちょうようじょう じゅしょう
査委員協議会長表彰を受賞されました。

2週続けて手島町長へ受賞の報告があり、西尾さんは「これまで共に監査を行なってきた代表監査委員や関係機関の皆さんのご協力のおかげ」「議員だからというよりは、身近な地域の皆さんのお暮らしを少しでも楽しくできるように支えられたらという気持ちで続けてきた。このような栄誉をいただけると思っていたいなかった。芽室町の皆さんのために恩返ししたい」と受賞の喜びを話されていました。

撮影時のみマスクを外していただきました。



あき じょくん き けんぎょう む じゅう じ しゃじょくん 秋の叙勲 危険業務従事者叙勲 め むろちょう ふたり じゅしよう を芽室町からお二人が受章

●叙勲(じょくん)とは

70歳以上か、所定の条件に該当する55歳以上で、国家や公共事業、社会に功労のある方などが対象となります。今回お二人が受章した「瑞宝章(ずいほうしょう)」は長年にわたり公務などに従事し功績を挙げた場合に授与されるもので、家内さんは学校保健功労として、また、北さんは消防功労として、ともに「瑞宝双光章(ずいほうじゅうこうしょう)」を授与されました。

●春秋叙動と危険業務従事者叙動

家内さんに贈られたのは、年に2回行われる春秋叙勲で、春は4月29日に、秋は11月3日に発令されます。北さんには贈られたのは、危険業務従事者叙勲という、警察、自衛官、消防など危険性の高い業務に精励した方に贈られる叙勲です。

瑞宝双光章(学校保健功労)受章



かぞく しょくば みな かんしゃ 家族や職場の皆さんに感謝

在職中に印象に残っていることを伺うと、平成28年夏の台風のことや、管理職として職員の体制強化に努められたことを挙げ、中でも「十勝管内の消防広域化として、とかち広域消防事務組合への切り替えに携わることができたこと」は財産。当時、芽室消防署は少ない人数で職務に当たつており、体制増強に向けて動き回ったことが思い出されます」とお話ししてくださいました。

受章に際しては「支えてくれた妻や職場の皆様のおかげで、このような栄誉をいただくことができ、感謝しています」とコメントをいただきました。

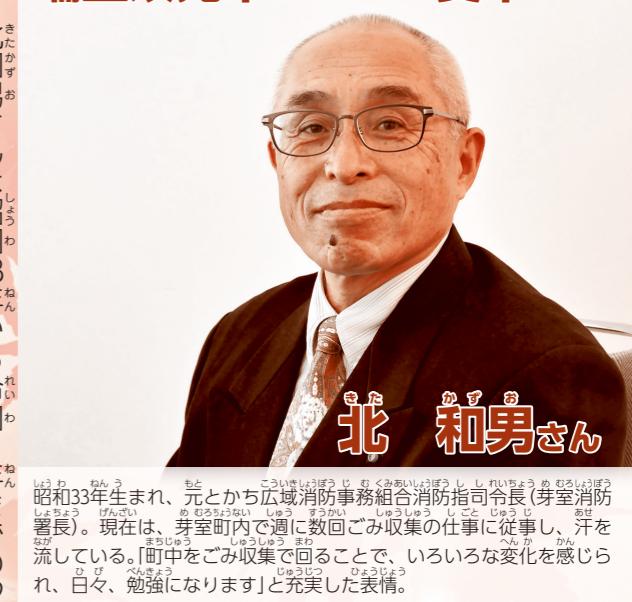
撮影時のみマスクを外していただきました。

なかまみな仲間の皆さんのおかげに49年の間に、内典夫さんは昭和49年から現在まで、実に49もの間、町内小中学校の児童・生徒たちの学校歯科医を務めています。現在も、昭和51年に開院した家内歯科医院で地域の皆さんのお口の健康を守りながら、学校歯科医を続けるています。

約半世紀、子どもたちの歯を診続けてきた家や内さんは「啓発活動や保護者の皆さんとの頑張りで、たしかに子どもたちの虫歯は減つている。一方で、あごの力は心配。食べ物に気を付けて、丈夫な歯を維持してほしい」と呴びかけます。

今回の受賞に際しては「妻の支えや芽室町歯科医師会の先生方のご協力のもと、これまで続けることができ、大変感謝しています」とコメントをいただきました。

瑞宝双光章(消防功勞)受章



撮影時のみマスクを外していただきました。